

4. 地域インターンシップ・プログラム（LIP）活動報告

○地域インターンシップ・プログラム（LIP=Local Internship Program）とは

和歌山大学観光学部の学生が各地域を訪問してさまざまな活動に取り組み、地域が抱える問題を明らかにして解決方法を探る、和歌山大学の取組み。

○プログラム概要

名称 岸和田景観 LIP（2021）

テーマ 景観資源活用による景観意識の向上と地域の賑わい・活性化への貢献

担当教員 堀田祐三子教授 参加学生 4名

○活動計画

- ・景観資源の現地調査を行い、景観資源やその周辺の集客資源調査等
- ・景観資源に対する市民意識を調べる（既存アンケート結果の分析）
- ・景観資源を鑑賞する行為を誘発する仕掛けを検討・提案する
- ・周遊方法や周遊ルートの検討と提案（時期・PR方法なども含む）

○活動の経過

6月10日(木) LIP採択結果の連絡（丘陵地区整備課、産業政策課）

6月11日(金) 顔合わせ（Zoom）岸和田市、景観担当の取組み説明

6月29日(火) 市役所訪問（関係課紹介）、岸和田城、だんじり会館、港湾部視察

9月29日(水) 活動の中間報告（意見交換）9名（都市計画課、先生、学生）

2月5日(土) 2021年度LIP合同活動報告会（オンライン）学内

3月22日(火) 成果発表（最終報告）、現地視察（2班に分かれ、20カ所案内）

○成果発表の概要

指定カ所 80カ所中 23カ所の現地を確認

- ・Google Mapで調べた際にわかりやすい所と分かりにくい所もある。

目印となるものがほしい。

- ・現地を確認した際に、期待より良かった所と期待と違っていた所

冊子のアップデート（修正など補足必要）

- ・アンケート（若者の意見の調査）

岸和田市の観光スポット3枚と観光スポットとして知られていない5枚をInstagramを活用して実施（24時間）86件の回答

行ってみたい場所

1位 蜻蛉池公園 2位 カカバ`イット`モールの遊歩道 3位 塔原町のサクラ
（比較的に自然の豊かな場所が人気あり）

若者をターゲットにするには、自然の豊かさを売りにした周遊ルート

○考察

緊急事態宣言期間などあり学外での活動の中止や制限があったことから、岸和田に来る機会が少なくなったと思われるが、1年間岸和田市の景観のことについて学び、分析を行い、また若者の意見も聴取していただきました、今年も2021年度の経験を踏まえた取組みになるよう、情報提供やサポートを実施する。